



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



濃厚接触者の登校判断や学級閉鎖の基準が見直されました

新型コロナウイルスの子どもたちへの感染拡大が止まらない状況です。保育園や幼稚園でも同様で、きょうだい関係の影響も互いに出ています。また、同居家族が濃厚接触者になることから、保護者の勤務など社会生活にも影響が大きいです。そこで、国の基準変更に伴い、本市でも濃厚接触者に関する基準は以下のようになっています。(2月14日現在)



- 児童が濃厚接触者になった場合、陽性者との最終接触の翌日から7日間は登校できません。(保健所の指示に従ってください)
- 同居のご家族が濃厚接触者になった場合、そのご家族も児童本人も何の症状もなく元気なら、児童は登校できます。ただし、濃厚接触者となったご家族に風邪症状等があれば、児童は出席停止です。(ご家族の検査結果が陰性で体調がよくなったら、児童は登校可になります)



また、専門家などの助言をもとに、本市の学級閉鎖の基準も変わりました。前号では、陽性判明の児童が一人出たら学級閉鎖とお知らせしましたが、現在は『同一の学級で3日以内に2人以上の児童の陽性判明』が学級閉鎖となる基準の原則です。同じ学級の中に、体調不良の児童や濃厚接触の児童が複数いる場合は、陽性判明者が一人でも閉鎖します。

委員会活動 引き継ぎ中!



毎年、2月になったら4年生が委員会活動の「見習い」を始めます。4月から、高学年として学校のさまざまなお世話をするようになるからです。今年も、各委員会で活動内容を教えてもらいながら取り組んでいる4年生の姿と、一緒に活動しながらいねいに教えている上級生の姿が見られるようになりました。

3月になったら、6年生は「引退」です。最上級生の自覚と責任感を育む5年生にとっても大切な時期と言えます。4月からの新たなスタートに向けて、どの子にもがんばってほしいと思います。

閉鎖の基準が緩和されたように感じられますが、決して状況が改善したわけではありません。学年末の学習のまとめをする機会の確保が目的であり、先日お知らせしたように、歌唱やリコーダー等の演奏を控えなければならないほど、校内での感染対策は厳しくなっています。しつこいようで恐縮ですが、ご家庭でも、これまで同様の感染対策や、無理をしない登校判断等をよろしくお願いいたします。

感染対策に留意しながら GT (ゲストティーチャー) を招き 「思春期教室」をしました

先月28日に、5年生が校内『思春期教室』に参加しました。GTは助産師さんで、区役所からお借りした「赤ちゃん人形」を使っての体験活動も行いました。

時期は時期だけに、実施について相談しましたが、講師の来校に問題がないとのことで感染対策に気をつけながら実施しました。子どもたちは、誕生までの話を聞いたり、「赤ちゃん人形」のお世話をしたりしながら、生命の大切さと自分自身の成長についてしっかり考えるよい機会になったようです。



トイレ洋式化工事終了

以前お知らせしていたとおり、1階から3階までのトイレを洋式にする工事が終わりました。あわせて、トイレの床も「乾式」にして水を流さずに清掃するようになりました。



工事中は、普段使っているトイレを使えず別の階まで行かなければならないなど、子どもたちには不便な思いをさせました。しかし、使いやすくなって本当によかったと思います。